



アサヒグローバル株式会社 代表取締役  
ゴールドトラスト株式会社 代表取締役  
ゴールドエイジ株式会社 代表取締役

文／久保川 義道  
text:Yoshimichi Kubokawa

## 子供3人なら『3つの会社』

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める！  
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

ホームページ

くぼかわよしみち.com

検索

asahiglobal.co.jp  
gloval-mie.co.jp  
super-chintai.com  
goldtrust.co.jp  
goldage.co.jp  
kubokawayoshimichi.com

兄弟は『他人』の始まり。他人のお嫁さん（お婿さん）が付けば『よその人』等々、昔の人はいい事を言いますよね。ちなみに裁判所の民事事件の7割は『親兄弟』の争いだそうです。

これに夫婦の離婚問題、ちなみに現在の年間結婚件数が66万件で離婚件数が25万件（2010年）ですから、3組に1組が離婚していますが、加えれば世の中の9割の大問題は『親兄弟夫婦の争い』と言うことになります。私も少なからず（？）体験しておりますので良く分かります。ですが、皆さんも十分ご理解できるのではないのでしょうか……？

さて、そうだと賛同いただいたとして、①その理由・原因は何なのでしょう。②そして対策・解決策はあるのでしょうか。私なりのお答えを申し上げますと①の理由・原因は『過去生』です。人間とは生まれる前からの『因縁』がありまして、過去生でその人達が争っていたとしますよね。そうすると『今生』生きてきてその仕返しをするし、されるんですよ。

そして仕返しをするのに、一番便利などころにいるのが『親兄弟夫婦』と言うことになり、仕返しはできませんね。いい因縁の人には『順縁』と言って、一生仲のいい夫婦・兄弟・親子でいられるのですが、まあそんな人は

10人中2人くらいでしょうかね……。だいたいの人達が『逆縁』で争うことになり、何をどうしようか……。そんな仕組みを作ったのでしょうか……？それはその人の『霊的な成長』のためですね。やはり過去生での自分の過ちは今生で苦しくても課さない人間としての成長はありませぬ。

さてさて何か私の言っていることは変です。宗教的な話しの様ですが私は信仰心も宗教もあまり得意なほうではありませんし、どちらかと言うと不信心者です。

ですがこの話しの基本は『死後の世界』があることと、生まれる前の『過去生』があることと、人は何回も生まれ変わることが当たり前として私は話しています。はい、私は『死後の世界』専門家です。30年も勉強していますから、いつでも議論いたしますが、すみません。最低200冊以上の本をお読みいただかないと、私は議論をお受けできません。素人相手にお話しはできませんね。

はい、失礼な独断と偏見のお話しはこれで終わりますが、ここからが②の対策・解決策です。そして『土地活用』と『賃貸経営』と『相続』に関する大切なお話しです。もし私の言うこれらの家族の問題が必ず起るんだと言う前提に立つて考

えてくださいと申し上げたい。ではどうすればいいのでしょうか……？

兄弟姉妹は必ずしもめるとご理解ください。そしてその、兄弟にそれぞれの他人の奥さんが付いて、3組に1組が離婚して『相続財産』も離婚で2分の1は他人の奥さんのものですから、一家の財産はチリチリバラバラで『大地主』でも2代目で完全に『ただの人』ですね。残念なことです。しかししかし、それを防ぐ『唯一』の方法は私があると思います。それが今回のタイトル、『子供3人なら3つの会社』にして、土地も賃貸もなにかも『会社で渡す』方法です。

その会社の株だけコントロール（専門家に要相談）（私でも可）しておけば、万一離婚でも大丈夫。そしてその会社をまた子供達の数に合わせて、別々にして代々相続していけば、永遠に『相続税ゼロ』所得税ゼロ個人『固都税ゼロ』が実現できるのです。一番いいのは次男の会社が倒産しても、長男と三男がしっかりとすれば助けてやればいいのです。しかし基本は『自己責任』ですね。これなら、兄弟ゲンカも争いもありません。

さて私には3人の子供がいますから、今まさしく『3つの会社』を設立して、財産と借金の大移動を開始し始めました。どうなることやら……。

わくわく

夢

ニュース【土地活用】

2014

1月  
No.013

華やかさと、  
上品さを両立。

2LDK×12戸、ファミリー向けマンション  
淡いピンクを基調とした外観に、光沢感のあるシックなタイルでまとめた  
エントランスが見事にマッチ。思わず知人を招きたくなる仕様となっています。

Maison Lumiere